

港区立元麻布保育園
指定管理者候補者選考委員会
報告書

平成30年10月9日

港区立元麻布保育園指定管理者候補者選考委員会

目 次

はじめに

I	選考した指定管理者候補者について	4
II	選考経過について	5
III	選考対象者について	7
IV	選考結果について	8
V	最終選考結果について	10

はじめに

本報告書は、港区立元麻布保育園の指定管理者候補者を選考するにあたり、「港区立元麻布保育園指定管理者候補者選考委員会」における審査の経過並びに結果について報告するものです。

港区が定めた「港区指定管理者制度運用指針」では、民間事業者等が持つノウハウやアイデア、専門性などを活用することにより、多様化する区民ニーズへの柔軟かつ迅速な対応や効率的で効果的な区民サービスの提供が可能となる施設については、積極的に指定管理者制度の導入を進めるとしています。

「港区立元麻布保育園指定管理者候補者選考委員会」は、このような視点を踏まえた上で、港区立元麻布保育園の設置目的を最大限に活かし、効率的・効果的に区民サービスを提供することができる候補者の選考を行いました。

審査にあたっては、常に厳正さと公正さを確保するとともに、委員会として委員の総意の下に結論を導き出すよう努めました。

港区立元麻布保育園指定管理者候補者には、3事業者から応募があり、様々な提案を受けることができました。いずれの提案も現状の課題を的確に捉え、かつ、将来を見据えた大変優れた提案であったため、選考作業は困難を極めましたが、指定管理者を公募した目的が十分達成されたものと大変喜ばしく感じています。

応募いただいた事業者の皆様には深く感謝するとともに、選ばれた事業者には、港区立元麻布保育園施設設置条例に定める目的の達成に向け、指定管理者として十二分に力を発揮されることを強く期待いたします。

平成30年10月9日

港区立元麻布保育園指定管理者候補者選考委員会
委員長 阿部 真美子

I 選考した指定管理者候補者について

1 指定管理者候補者

名 称	社会福祉法人春和会
代表者	理事長 岡本 和久
所在地	東京都江戸川区東小松川一丁目5番4号

2 対象施設

施設の名称	所在地
港区立元麻布保育園	東京都港区元麻布二丁目14番12号

3 指定期間 平成32年1月1日から平成41年3月31日まで（9年3か月）

4 選考の理由

- (1) 100人規模の保育園4施設の運営実績を活かし、園長・副園長を中心にグループウェアなどを活用した職員間の情報共有の徹底や、ブログなどを活用した家庭・保護者との情報共有に努め、大規模な保育園の安定的な運営が期待できる。
- (2) 医療的ケア児・障害児クラスの開設に向け、1年前から園長・副園長が採用活動に加わり、看護師リーダーは重症心身障害病棟での副看護師長の実績のある人物を配置し、核となる看護師や保育士はグループ内の小児科クリニックや病児保育室からの異動配置とすることで円滑な開設が期待できる。
- (3) 法人内の採用に特化した専門部署と外部コンサルタントの活用による職員の採用やキャリアアップを行うとともに、法人グループの医師等による内部研修や新規採用者向けオリエンテーションを毎月開催するなど、人材の確保と育成に努めており、安定的な運営が期待できる。

Ⅱ 選考経過について

1 選考の方法

(1) 第一次審査

応募法人から提出された申請書類及び計画書類について、財務関係書類、基本的事項の適格審査、計画書類に対する評価をもとに総合的な審査を行い、第一次審査通過者として3事業者を選考しました。

(2) 第二次審査

第一次審査通過者に対して、プレゼンテーション及びヒアリングを行い、(第一次審査と第二次審査とを併せた) 総合評価により指定管理者候補者を選考しました。

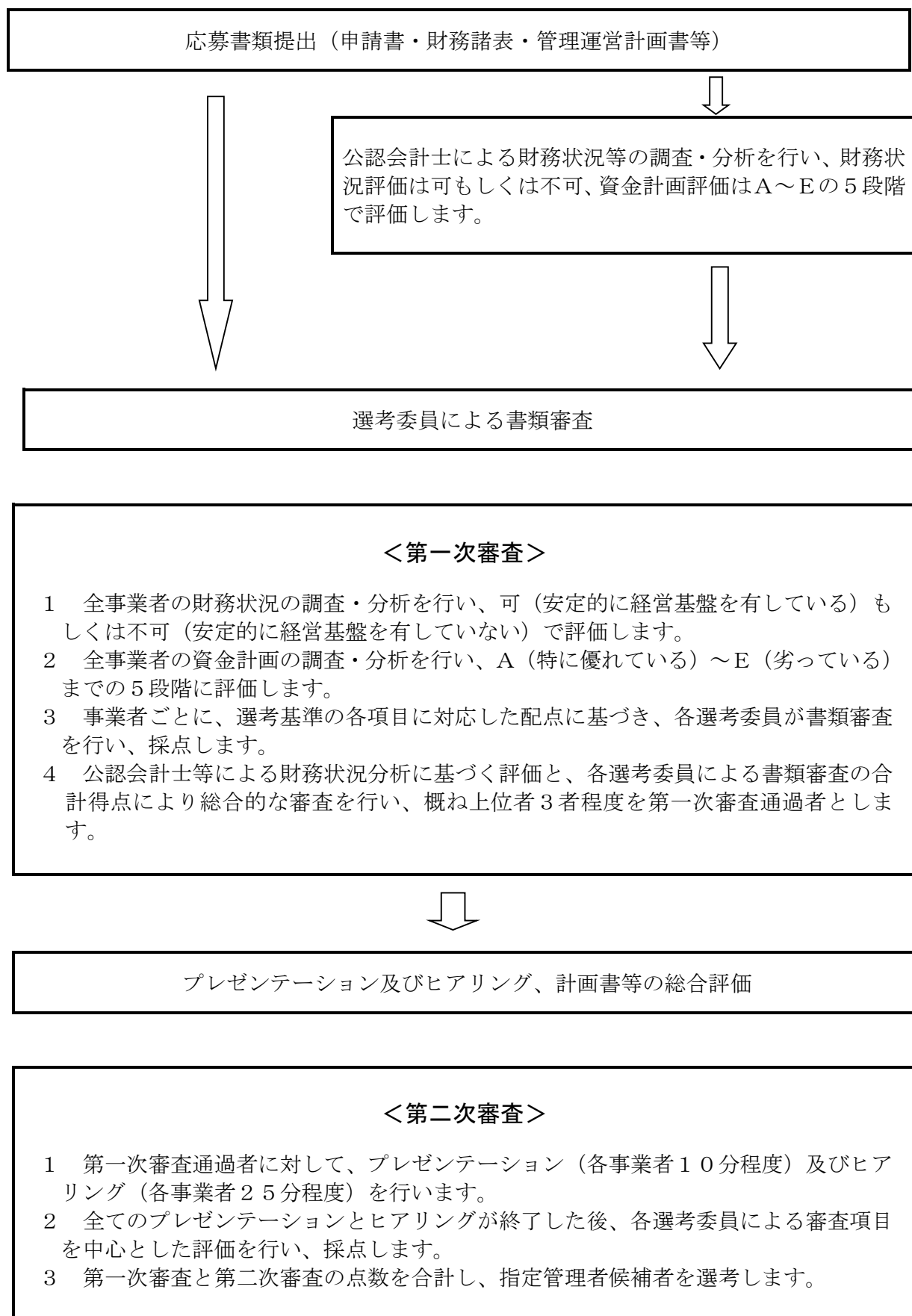
2 選考委員会の構成

委員長	阿部 真美子	聖徳大学短期大学部 児童学部児童学科 教授
副委員長	有賀 謙二	港区子ども家庭支援部長 (麻布地区総合支所長)
委員	田中 正浩	実践女子大学生生活科学部 生活文化学科 教授
〃	田角 勝	昭和大学医学部小児科学講座 客員教授
〃	西川 杉菜	港区子ども家庭支援部 保育・児童施設計画担当課長

3 公認会計士

類家 元之	類家公認会計士事務所
-------	------------

4 選考の進め方



5 選考委員会等の開催状況及び経過

(1) 第1回選考委員会

日 時 平成30年7月24日（火曜日） 18時00分～19時30分
 場 所 港区役所 915会議室
 議 題 委員の委嘱について
 公募要項について
 選考基準について

(2) 公募手続き

ア 公募要項説明会 平成30年8月6日（月曜日）
 イ 現地見学会 8月6日（月曜日）
 ウ 質問書受付 8月6日（月曜日）～8月13日（月曜日）
 エ 質問への回答 8月22日（水曜日）
 オ 申請受付（第一次提出） 8月23日（木曜日）～9月10日（月曜日）

(3) 第2回選考委員会（第一次審査）

日 時 平成30年10月1日（月曜日） 18時00分～19時50分
 場 所 港区役所 913会議室
 議 題 応募事業者の財務状況等について
 第一次審査（書類審査）
 第二次審査の方法について

(4) 第3回選考委員会（第二次審査）

日 時 平成30年10月9日（火曜日） 18時00分～20時50分
 場 所 港区役所 研修室
 議 題 第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）
 候補者の決定について

Ⅲ 選考対象者について

No	事業者の名称		所在地
1	社会福祉法人春和会		東京都江戸川区東小松川一丁目5番4号
2	B事業者		—
	代表団体	B-1事業者	—
	構成団体	B-2事業者	—
	構成団体	B-3事業者	—
3	C事業者		—

IV 選考結果について

1 第一次審査

(1) 財務状況分析等について

公認会計士による財務状況調査分析等報告書に基づき説明がありました。

ア 財務状況評価

各法人より提出された財務諸表（決算報告）を基に、財務規模、収益性、安全性について、数値及び比率分析等により、安定的に継続して指定管理業務を行うことができるか否かを、可若しくは不可の絶対評価を行いました。

イ 資金計画評価

各法人より提出された資金計画書を基に、資金・収支計画の正確性、安全性、収支見込の妥当性、運転資金調達の確実性、事業計画との整合性、経費見積りの妥当性などについて数値及び比率分析により、A～Eの5段階総合評価を行いました。

(2) 選考基準表に基づく採点

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計による選考を実施しました。

順位	事業者の名称	財務状況 評価	資金計画 評価	合計点数 (1,250点満点)
1	C事業者	可	C	874点
2	社会福祉法人春和会	可	B	872点
3	B事業者		C	791点
	B-1事業者	可		
	B-2事業者	可		
	B-3事業者	可		

※ 財務状況評価基準

可（安定的に経営基盤を有している）、不可（安定的に経営基盤を有していない）

※ 資金計画評価基準

A：特に優れている、B：優れている、C：普通、D：やや劣っている、E：劣っている

(3) 選考経過

各委員が各候補者の提案内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
C事業者	<ul style="list-style-type: none">・副園長に看護師経験があるのは非常に良い。・地域との関係について具体性を持っていることは評価できる。・看護師の研修やプライバシーマークの取得について評価する。・恒常的な運営を考えると経費が高いことが気になる。
社会福祉法人春和会	<ul style="list-style-type: none">・グループウェアやブログなどを活用し、職員間や家庭・保護者との情報共有に努めていることは評価できる。・採用に関して専門部署の設置やコンサルタントの活用、法人内外の研修が充実していることから人材の確保と育成に努めている。・医療的ケア児の受入れ実績があり、グループ内の小児科医による医療面のサポートが充実している。・職員体制について、園の中でどれだけ対応できるのかヒアリングしたい。
B事業者	<ul style="list-style-type: none">・副園長に特別支援学校での経験があるのは非常に良い。・職員の募集について、就職フェアへの出展だけでは人が集まらず苦勞している事業者が多い中で、それを前面に出していることが不安である。・3つの法人の関係性が明確ではなかった。・全体的に抽象的な表現が多く、園全体として200人の子どもをどのように見ていくのか気になるのでヒアリングしたい。

以上の点を総合的に勘案して、採点集計表の順位のとおり上位3事業者を第一次審査通過者としました。

2 第二次審査

(1) プレゼンテーション及びヒアリング

第一次審査通過3事業者がそれぞれ15分のプレゼンテーションを行った後、管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容に基づき25分のヒアリングを行い、選考基準により審査しました。

(2) 採点結果

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計と第一次審査の合計点を合算した総合点数をもとに順位付けしました。

順位	事業者の名称	総合点数 (1,875 点満点)	第一次審査点数 (1,250 点満点)	第二次審査点数 (625 点満点)
1	社会福祉法人春和会	1, 3 0 7 点	8 7 2 点	4 3 5 点
2	C事業者	1, 2 7 9 点	8 7 4 点	4 0 5 点
3	B事業者	1, 2 4 1 点	7 9 1 点	4 5 0 点

(3) 選考経過

各委員が第一次審査通過3事業者の管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
社会福祉法人春和会	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師リーダーは重症心身障害病棟で実績のある人物を配置し、中心となる職員はグループ内の小児科クリニックや病児保育室からの異動配置とする等、円滑な開設が期待できる。 ・園長の受け答えもしっかりしており、安心して任せられると思った。 ・もう少し医療的ケア児・障害児に対する理解があれば良かったと思うが、経験の有無ではなく、これから経験を積んでいくという姿勢が見られたのは良かった。
C事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に聞いてみると受け答えが弱く、伝わるものが少なかった。 ・自社の提案内容をよく理解していなかった。
B事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・元麻布保育園の200人規模の運営に係る課題について、区内初の試みであることをしっかり理解して伝えられていた。 ・医療的ケア児・障害児対応について、経験と実績からしっかりと受け答えができていた。

V 最終選考結果について

最終選考結果

選考基準に基づき最も高い総合評価を与えられるのは、「社会福祉法人春和会」です。選考委員会の総意として、「社会福祉法人春和会」を港区立元麻布保育園指定管理者候補者として選考します。